

C S 通 信 しんとつかわ

コミュニティ・スクール

第2回学校運営協議会

2月17日に第2回学校運営協議会を開催しました。

令和2年度最後の学校運営協議会は、学校運営の評価・次年度の経営方針の承認・働き方改革について話し合いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協議会開催は2回となりましたが、その時間の中で、小学校から岩城校長、中学校から國行校長より、学校の状況について詳細にご説明をいただきました。

今回は、学校運営協議会の協議内容についてお知らせをします。

学校運営の評価について

小学校は保護者アンケートを基に、中学校は生徒・保護者アンケートを基に説明いただきました。アンケート結果は令和2年12月発行の「学校だより」に載っているものです。

小学生では、保護者の方から子どもたちが楽しく学校生活を送っている様子が評価されています。中学生についても「学校生活の満足度」が高くなっています。コロナ禍で色々制限があった中ですが、児童生徒も先生も保護者の皆さんも、創意工夫して行ったことが結果につながっていることだと思います。

参考・アンケート結果

(小学校、「楽しく学校生活を送っている」が、保護者が「はい」と「だいたい」を含め98%)
(中学校、「学校生活の満足度」が、生徒が84%、保護者が74%)

次年度の小中学校経営方針が承認されました

・新十津川小学校

令和3年度のキーワードは「笑顔」です。

コロナ禍の中、先生も子どもたちも「笑顔」でいることの大切さを感じています。

ぜひ、地域においても、「笑顔」で子どもたちを支えていきましょう。

また、コロナ禍であっても、「教育を止めない」理念のもと、ICT教育の推進や学校行事の工夫改善等、これからの社会をたくましく生き抜く力の育成を行っていきます。

地域においても、「共に児童を育てる」意識を持ち、子どもたちを育てていきましょう。



・新十津川中学校

中学校のスローガンは、「挑戦意欲を高め、創造性を育む学校」です。それを基にした具体的行動に検証を行う場面を設定しています。

コロナ禍ですが、創意工夫をして学校行事や地域の方の協力を得た体験事業等を行いながら、重点目標の一つである、地域とともに作る教育の推進を実践していきます。

また、次年度において、働き方改革を進めることにより、先生が生徒と向き合う時間をしっかりと確保していくことを大切にし、チームとして教育活動を展開していくための取り組みを検討しています。地域としても協力ができることはないか、今後も継続的に話し合いを続けていく必要があると感じているところです。



働き方改革について

4、5月は新型コロナウイルス感染症による学校休業により、先生方は新たに授業計画の変更・消毒作業・行事等の中止や実施に係る対応に多くの時間を必要としました。

6月からは、学校再開により授業の遅れを取り戻すために、更に多くの時間を要し、子どもたちの授業の遅れは解消したのですが、先生方の超過勤務が増え続けています。

部活動については、8月、9月に集中し、多くの超過勤務の原因となっています。

児童生徒と向き合える時間を確保するためにも、先生方の勤務改善を進めなければなりません。

なお、学校の勤務時間については、次のとおりになっています。

【小学校の勤務時間】

午前7時 55 分から午後4時 25 分（休憩時間 午後3時 25 分から4時 10 分まで）

【中学校の勤務時間】

午前8時から午後4時 30 分（休憩時間 午後3時 30 分から4時 15 分まで）

お昼の時間帯については、給食指導・生徒指導の業務を担っているため、休憩時間の確保は遅い時間になっているのが現状です。

コミュニティ・スクールの活動・PRについて

・これからの課外活動について

9月に文部科学省の方針として、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の概要が示されました。令和5年度に向けて、部活動を学校単位から地域単位の取り組みにする方向に進んでおり、地域人材の活用が期待されています。



CS通信は、学校運営協議会（地域）からの発信として、今後も情報をお知らせして行きます。学校が発行する「ふるさと」や「新中だより」もあわせてご覧ください。

〇コミュニティ・スクールのホームページは、教育委員会の項目からご覧ください。

